

木材ジャーナル名古屋・せぶ

令和8年3月号 No.226

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和8年度 各団体の会議等日程について

令和8年度の各団体の会議等の日程が決まりましたので、ご承知おき頂きますようご案内いたします。

- 令和8年3月18日(水)** 14:00～14:20 愛知県木材協同組合連合会 3月期 理事会・総会
 14:20～15:00 (一社)愛知県木材組合連合会 3月期 理事会・総会
 15:00～16:30 愛知県木材産業政治連盟 【政経文化講演会】
 講師 多賀敏行氏 学校法人梅村学園評議員
 (元中京大学客員教授・元駐ラトビア日本大使)
 演題『天皇陛下に仕え、世界と向き合っ
 ～侍従と外交官の現場から』
 ※講演会問い合わせ先：名古屋木材組合 TEL(052)331-9386
- 3月23日(月)** 10:00～ 名古屋港木材会館 株主総会
 12:00 名古屋港木材産業協同組合 通常総会
- 4月 3日(金)** 13:00～18:00 新入社員歓迎会・講習会
- 4月17日(金)** 10:00～11:00 優良従業員表彰式
- 5月13日(水)** 14:00～15:00 名古屋木材組合 理事会
 15:00～15:30 (一社)愛知県木材組合連合会 理事会
 15:30～15:50 愛知県木材産業政治連盟 理事会
 16:00～17:00 林業・木材製造業労働災害防止協会 愛知県支部 理事会
- 5月27日(水)** 13:30～14:20 名古屋木材組合 通常総会
 14:20～15:10 (一社)愛知県木材組合連合会 5月期 通常総会 表彰式
 15:10～15:30 愛知県木材産業政治連盟 通常総会
 15:30～16:00 愛知県木材協同組合連合会 通常総会
 16:00～17:00 林業・木材製造業労働災害防止協会 愛知県支部 通常総会
- 10月29日(木)** 第60回全国木材産業振興大会 東京都

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

みちしるべ

先人先哲から学ぶ人間形成の指針 「知・情・意」が育む木材・住宅業界の未来とは!?

名古屋木材組合
組合長 西 垣 洋 一

人間を構成する三つの根本的な心的作用の構造

私たちが物事を理解し、判断し、行動するためには、「知・情・意」という三つの力が欠かせません。これらは個人の成長だけでなく、組織や業界全体が持続的に価値を生み出すための基盤となります。

「知」は、物事を正しく理解し、適切に判断する力。「情」は、他者や社会、自分自身への思いやりや感情。「意」は、知と情で得た理解や思いを、具体的な行動に変える力を意味し、「知」と「情」が揃った上で、「意」の力が実践されることで、初めて持続的な価値の創造が可能となります。

夏目漱石の『草枕』の一文に学ぶ

「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ」

智（知）に働けば角が立つ：理屈や知識だけで物事を判断すると、他人と衝突しやすくなる。

情に棹させば流される：感情や思いだけで行動すると、周囲に流され自分の判断が揺らぎやすい。

意地を通せば窮屈だ：自分の意志やこだわりばかりを優先すると、融通が利かず苦しくなる。

漱石は、この三つの力（知・情・意）をバランスよく使うことの大切さを示しています。どれも偏らず、適切に組み合わせることで、判断や行動が調和し、円滑に進むということを説いています。

「知・情・意」が育む木材・住宅業界の未来

この「知・情・意」の考え方は、木材・住宅業界においても非常に重要です。木材は住宅や建築の基盤を支える資源であり、その品質や流通、活用方法は業界全体の信頼や価値に直結します。

「知」は、木材の特性や加工技術、乾燥や保管方法、流通システムに関する正しい理解を意味します。同じ樹種であっても木目や含水率によって扱いは変わり、適材適所に木材を活かす判断や最新の加工技術、流通の最適化を理解して活用することが、品質の安定や顧客満足に直結します。また近年、森林科学・環境工学・データ分析など、科学的知識の重要性が飛躍的に高まっており、ドローンを用いた森林資源のモニタリング、AIによる伐採時期の最適化、木材乾燥技術や接着技術の進化は、まさに「知」の結晶と言えます。

「情」は、木材が人にもたらす心理的な豊かさと、森林に対する社会的な責任感に集約されます。関わるすべての立場に共感し、調和を意識した行動を取ることで、業界全体の信頼性が高まり、持続可能な発展が可能となります。地域材の活用や持続可能な森林管理、現場で働く社員や職人の意見を尊重する運営も、「情」の力による成果の一例です。「情」があることで、「知」で得た理解は単なる効率や利益の追求にとどまらず、社会的な価値の創造に変わります。

「意」は、課題解決と未来の創造に向けた強い決意と、それを実現する具体的な実行力を指しています。品質向上の取り組み、新しい加工技術や施工法の導入、地域材の活用等は、意志をもって行動することで成果となります。経営者や現場リーダーが方向性を示し、社員や職人が主体的に工夫や改善を行うことで業界全体が成長します。又、「意」は挑戦や継続の力でもあります。新しい取り組みを実践し続けることで、木材・住宅業界は革新し、地域社会や顧客に新しい価値を提供できるのです。

「知」が技術や判断力を支え、「情」が人や地域との関係を築き、「意」が未来を切り拓く。この三つの力が揃うことで、業界は地域社会に持続可能な価値を生み出すことができます。「知・情・意」を意識した取り組みは、品質の安定や効率的な流通、人や地域との信頼関係の強化に直結し、持続可能な家づくりと産業の未来を支える重要な鍵となります。互いに学び合い、協力することで、業界としてより強く、より価値ある産業として次の世代に引き継がれていくでしょう。

◆ 合縁木縁 ◆

◆ 自遊で異見番 ◆

「地域を見守る氏神様」

当社の近隣、名古屋市中区正木に鎮座する「闇之森八幡社」では、毎年2月3日に節分の豆まき神事が行われます。一般的な「鬼は外」という掛け声は用いず、「福は内、福は内」と唱えながら豆をまき、福を招き入れることに心を込めるのが特徴です。旧暦では一年の節目にあたる節分は、邪気を払い新たな年を迎える大切な行事です。その起源は平安時代の宮中行事にさかのぼり、やがて豆まきの風習として庶民の間に広まったそうです。闇之森八幡社の豆まき神事も、こうした日本古来の文化を現代に伝える貴重な行事のひとつであり、私たちにとって仕事の安全と繁栄を祈る大切な機会となっています。

同社の創建は長寛年間（1163～1165年）と伝えられ、源為朝が石清水八幡宮を勧請したことに始まるといわれます。境内には為朝の甲冑を埋めたと伝わる「鎧塚」が残されています。戦国期には織田信秀が社殿を修築し、江戸時代には尾張藩主徳川義直以来、歴代藩主の崇敬と保護を受けました。鳥居の幣額は徳川義親の直筆と伝えられ、徳川家との深い縁を今に伝えています。

かつては月光も差し込まぬほどの深い森に囲まれていたことから「闇の森」と称され、大正時代には名古屋十名所にも選ばれました。近年は落ち葉対策のため樹木の一部が伐採され、往時の面影はやや薄れましたが、長い歴史と自然に支えられた神社は、今も地域の心のよりどころであり、当社にとっても大切な存在です。皆様の地域にも氏神様がおられることと思います。ぜひその由緒に触れ、静かに手を合わせてみてはいかがでしょうか。

今回は、株式会社川口商店 川口 桂右氏にお願いします。

「いまだきのお年玉」

少し前の話になりますが、我が家では毎年元旦に娘夫婦が孫を連れて正月の挨拶に来てくれます。親馬鹿ならぬ孫煩悩（ジジ馬鹿という言葉は辞書にはないそうです）はどうしても孫たちにお年玉を上げたい。しかしながら、まだお金の価値がわからない5歳と2歳の幼児に対していくらのお年玉を渡せばよいか分からない。悩んでいたところ、妻より「インターネットで調べてみては」と一言。早速検索してみると昨今の相場としては、小学生未満は1,000円以内、小学校低学年は2,000円～3,000円、小学校高学年・中学生は3,000円～5,000円、高校生・大学生は5,000円～10,000円がボリュームゾーンとの事で、これは20年前とあまり変わっていないように感じました。

お年玉の渡し方については、大人の9割以上が「現金（手渡し）」が多く、理由としては「現金の方がもらったという実感がわく」「現金で渡すのが伝統」などといった回答が寄せられていました。昭和の人間としては大いにうなずける結果でした。

一方でもらう側は、20歳以下の38.5%がキャッシュレス決済でもらいたいと答えているようです。現在はまだ現金でもらう方が多いようですが、この先キャッシュレス決済が増えていく傾向にあるそうです。この結果を見て、お年玉までキャッシュレスの波が押し寄せてきているのかと現実を知らされました。今の世の中、あらゆる場面でキャッシュレス決済に遭遇しますが時代の流れとして受け入れなければ、取り残されてしまいそうです。因みに神社仏閣でも「賽銭のキャッシュレス化」が急増しているようです。

ついでお年玉の由来について調べてみました。お年玉の由来は、「正月に家々にやってくる歳神様へのお供え物である丸い鏡餅『御歳魂（おとしだま）』を、家長が家族に分け与えたことにあり、歳神様の魂が宿った餅を食べることで、一年を無事に過ごせるようにとの願いが込められた宗教的な風習であった」とのことでした。それが、昭和30年代（1955年以降）の高度経済成長期に、現金を渡す習慣が一般的になったようです。家族構成の変化や都市化により、各家庭で餅をつく習慣が減ったことも背景にあるようです。

お年玉の形態は時代とともに変化していますが、いくつになってもお年玉をもらうことはうれしいです。私自身も同居している義母（今年で100歳）から今年もお年玉を頂きました。

最後になりますが、昨年末をもちまして24年間にわたり参加させていただきました広報委員会を卒業いたしました。長きにわたり木材ジャーナルに携わられたことに感謝いたします。ありがとうございました。

防災意識向上に向けた取り組み (KIBOU【木防】プロジェクト)

名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会は、弥富市と連携し、大規模災害への備えを目的に、名古屋港臨海部に立地する会員企業の防災意識向上を目的として令和8年2月20日、弥富市の出前講座を鍋田埠頭港湾労働者福祉センターで開催しました。講座では、地域特性(名古屋港西部臨海地帯)を踏まえた想定震度、津波到達予想時刻についてまた、企業従業員の避難・対応という内容で解説されました。参加者からは「弥富市の臨海部の海拔が高いことに驚きました。」「避難場所と避難所の違いを確認できました。」などの声が寄せられました。次回は3月17日防災シンポジウム開催となります。皆様のご参加をお待ちしております。



お知らせ

名古屋港木材産業協同組合 第51回 総会 を開催します

日時：令和8年3月23日(月曜日) 午前10時00分から

場所：名古屋港木材会館会議室

議題：第1号議案 第51期事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の承認について

第2号議案 第52期事業計画及び収支予算(案)の承認について

第3号議案 経費の賦課及び徴収方法並びに加入手数料その他決定について

第4号議案 理事及び監事の選挙について

※組合員の皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお願いたします。

名古屋港木材産業協同組合

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

その警察官、本物ですか…？

警察官を装った者が「あなたは捜査対象」「逮捕状が出ている」等言い、調査名目で個人の口座に振込させたり、暗号資産を送付させる等してお金をだまし取るニセ警察官詐欺被害が増えています。

偽警察官はビデオ通話で制服姿を見せ、逮捕状や警察手帳を提示することで信用させようとするので注意してください。

【警察からのLINEやビデオ通話は詐欺！】【顔が見えるから安心】は危険です【高齢者だけじゃない！若年層も騙されています】

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956

URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

7/17

暮らしの中で、
輝き続けるキッチン

STEDIA

ステディア

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部伸一
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会